

5・29

頸南支部役員会開催

5月も月末の29日(土)の夜、会員でもある安原鮮魚店さんの2階の宴会場で総勢8名が参加して支部役員会を開催しました。久しく集いが出来ずに、家主である安原さんから、「何でもいいから宴会に使ってくれないかなあ」と再三依頼があったにも拘わらず実現できずに来ましたが、今回やっと実現できました。話を聞くと、「今年に入つて宴会は1回小宴会があったきりで、後は、法事なんかも仕出しだけ。自宅だから家賃はないけど、借金は待ったなし。昨年頂いた【持続化給付金】なんてあつという間に無くなったし、もう一回実施してくれるといいんだけどなあ」なんて。



冒頭支部長が、「民商総会が7月にあるからそれに出席する代議員や本部の役員も決めなくちゃならなくて、支部役員会を開くことになりました」という経緯を話され、早速本題へ。ご馳走を前に、話を早く終わらせてくれという思惑も透けて見える状況でしたが、何とか決めなくてはならない課題を決定し、宴会へ。美味しい魚料理と地酒で久しぶりの宴会です。距離をとってマスク会食だなんて絵に描いた餅。マスク無しで話は弾むし、コロナなんてどこ吹く風です。田舎だから大丈夫だ

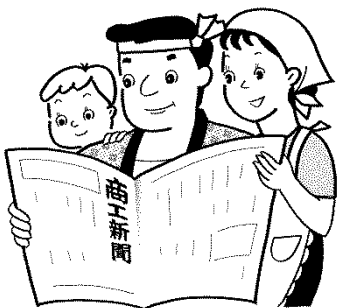
ろうという根拠のない理由で宴会は進行しました。

そんな中、事務局は酒も飲まずに署名をまだ提出していない方に持ち帰ってもらおうと話をしていたら、役員の一人在「民商ってどうして役にも立たないような署名をしつこく会員に出せ出せって言うんだろ」うんだろ「なあ」と絡んでこられました。事務局員はまとも「そんな」とはいいですよ。消費税だって増税を遅らせたし：」なんて答えていると、他の古参会員が「まあまあ、事務局だつて会員のために良かれと思つて署名をお願いしているんだから」と話に割つて入つてこられ、事なきを得ました。やはり、【署名】も趣旨をよく理解してもらつてから渡さない、民商に強制的に書かされていると感じるのかもしれないですね。



それと【拡大】も同じだと思ひました。商工新聞読者や会員を増やせ増やせと会員にお願いしても、よっぽど対象者の要求と合致しなければ行動を起こすことも難しいでしょう。数は力です。組織の構成員の数は外から見たら大きな判断材料のひとつです。会員が千人以上いる団体と2〜3百人程度の団体じゃ対応は違つてきて当たり前です。もちろん、各自自治体の業者比率は違いますから一概に比較も出来ませんけど。

民商では県連総会・民商総会を控え、仲間増やしll拡大に力を入れています。ぜひ皆さんの力を貸してください。



会員一人が一人の会員・一人の読者を増やせば倍増します。一人が何十人も増やすのではなく、一人が一人増やしていくことを年の節々で習慣化していければと思つています。

その他に直東支部・春日山支部が支部役員会を開催。参加者からは「コロナで仕事が減少している」(電気工事業)「元請は働き方改革で従業員を休ませ、そのしわ寄せで忙しくて仕方がない」(製罐業)「材木が高騰して仕事の目途が付かない」(建築業)「パチンコ店は平日でも結構人が入っている」(コンビニ)など、久しぶりの役員会で話が弾み、行きつくところは政府のコロナ対策の失政でした。

今年の民商

総会は7/4日に決定!

民商では先日の常任理事会で、今年の総会について議論しました。昨年来のコロナ禍によつて民商の事業も大半が影響を受け、行事の形態を変えたり未開催に追い込まれたりしています。総会も昨年は懇親会が出来なかつたり参加者を絞つて少人数で開催したりしました。コロナが収束せずワクチンも全員に行き渡らない状態で大規模な懇親会は許されません。そうかと言つて昨年のような民商の3階での開催だとちよつとソーシャルディスタンスに背くかなというところで、今年は市民プラザの第1会議室(100人規模)を借りて懇親会無しで実施する運びとなりました。各支部で代議員を選出していた、今月の25日までに事務局まで届け出て下さい。昨年同様委任状での参加も認めます。



今年のリフォーム助成は抽選になりました。

上越市のリフォーム助成制度ですが、今回の上期(4/14~5/19)での申請が予想以上に集まりました。1800件の申請が出たそうです。一件当たりの

上限額が15万円で予算枠が7500万円でしたので抽選となりました。その他にすでにニュース等でも話題になっておりますが、建築木材が大幅に不足しており、建築工事が進まない事態が発生しているそうです。俗に「ウッドショック」と言われていますが、施主にしても工事業者にしても予定外のことです、どうしたらいいのか頭を悩ませていきます。

只今、「ウッドショック」について全商連で業界の実態を知るためにアンケートを実施しています。建築業者の皆さん、ご協力をお願いします。

上越市の

【事業者経営支援金】 給付要件緩和

今年3月から申請受付が開始されている上越市の支援制度ですが、県と違って対象業種を絞らず広範囲の業者を支援できる制度で良かったのですが、給付条件のハードルが高くて弾かれてしまう業者が多くいました。「残念だけど、うちは該当しないわ」「ひと月だけなんだけど、条件に合わなくて…」など、コロナで経営に困っている零細業者を支援しようとする趣旨なんですよけれど、頑なな条件さえ緩和してくれさえすれば救える業者も大勢出てくるはずですよ。そんなことで、我々が陳情する前に、共闘関係にある共産党の市議さんが動いて下さり、大分改善されたことが発表されました。読んでみると、確かに給付条件は下がったのですが、確認書類とヒアリングが条件に追加され、「一難去ってまた一難」って感じですよ。7月末まで申請期間は続きますので、また要求が出たらぶつけていきたいと思っています。

6・16

【なんでも相談会】

上越民商では毎月第3水曜日の夜7時から民商会館3階ホールにて「なんでも相談会」を開催しています。何でもと言って



も商売上のトラブルや困り事・債務問題・税金・記帳・申告などを中心に相談を賜ります。

困ったと言えば、先日、家庭内のDVについての相談がありました。お聞きするだけでこちらとしてはいい解決の方策も見出せず、他の相談所を紹介させていただいた次第です。

会員以外の方もお気軽にお越し下さい。勿論、相談内容は堅く守られます。

【各種署名へのご協力を】

上越民商では現在5種類の署名を募っています。

■中小業者の新型コロナ危機打開を！
中小業者が生き延びるための持続化給付金の再給付や、課税しないことを求める署名。

■消費税率を5%に引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める請願

消費税は廃止が理想だが、取りあえず5%の減税を目指します。

■改憲NO！
改憲発議に反対する全国緊急署名

民商は平和憲法順守・改憲には反対です。



■マイナンバー制度の利用拡大を中止し、制度の廃止を求める請願

民商は監視社会に反対しています。

■消費税インボイス制度の実施中止を求める請願

消費税の免税点制度を廃止するよいうな、中小業者つぶしの制度には反対です。

●趣旨に賛同していただける方からの署名運動への参加をお待ちしています。ただ、自分が署名用紙に署名するだけではなしに、周りの人にも署名を勧めて下さい。民商の事務所に多くの署名用紙が用意されています。

事務局員募集

民商では事務局員を募集しています。20代〜40代の自動車免許をお持ちの方で、高校卒業程度の学力のある方を希望しています。正規職員です。お近くにご紹介できる方がおられましたら是非ご紹介下さい。

